

大切な人たちにチョコレートで気持ちを伝える日 バレンタインデーの由来とは？

鬼は外！福は内！ 豆まきや恵方巻を食べる理由って？

4年に1度訪れる うるう年について

バレンタインデーの由来とは？

大切な人たちにチョコレートで気持ちを伝える日

“バレンタイン”という言葉には、そもそもどんな意味があるの

諸説ありますが“バレンタイン”という言葉は、ローマ帝政時代にキリスト教の司祭として実在していた聖人ヴァレンティヌスの名に由来していると言われています。当時ローマを治めていた皇帝クラウディウス2世は、愛する人を故郷に残すことで兵士の士気が下がってしまうと考え、若い兵士の婚姻を禁止していました。

そんな若者たちを憐れみ極秘で結婚式をおこなっていたのが、司祭であったヴァレンティヌス。何度か皇帝から警告を受けるも信念を曲げず、ついに死刑を命じられることに。2月15日の豊穡祭ルカペリア祭りの前日に、生贄として処刑されました。

もともと古代ローマにおいて2月15日のルカペリア祭りや、その前日に当たる2月14日女神ユノー(結婚生活の守護神)の祝日は、男女の出会いの日として親しまれていました。それが、恋人たちの愛のために犠牲となったヴァレンティヌスの逸話をきっかけに、キリスト教徒にも「恋人たちの日」として認知されるように、世界に広まっていったと言われています。

チョコレートを贈るのは日本だけ



バレンタインデーがチョコレートを贈る日とされているのは、実は日本だけです。

このような日本独自のバレンタインデーの形ができたのは、お菓子業界のキャンペーンに寄るところが大きいと言われています。

どこの会社が始めたかは諸説ありますが、神戸モロゾフ製菓、メリーチョコレートカンパニー、森永製菓、ソニープラザなど様々な企業がバレンタインデーのキャンペーンを展開し始めたことで「2月14日は女性から好きな男性にチョコレート送って告白する日」という文化が広く浸透しました。

その後時代とともに、お世話になった人にチョコレートを渡す「義理チョコ」、友達にチョコレートを渡す「友チョコ」、自分のためにチョコレートを購入する「自己チョコ」など、様々な贈り方が登場。現在では自分も含め様々な人へチョコレートを通じて感謝や愛情を伝える、そんなイベントへと成長しています。

豆まきや恵方巻を食べる理由って？

鬼は外！福は内！

◎ 豆まきをする理由

昔から神様が訪れるときは、鬼などの悪さをするものと一緒にやってきてしまうと考えられていました。そのため、神様だけを迎え入れ、**悪しきものや邪悪なものを追い出すために行われたのが「豆まき」**です。

また、地域によっては魔目(まめ=鬼の目)をめがけて豆を投げることで、魔滅(まめ=魔が滅する)という意味もあったようです。



◎ 恵方巻を食べる理由

恵方巻きとは福を巻き込んだ太巻きを、恵方を向いて丸かじりするという関西発祥の風習のこと。その年の縁起の良い方角を向いて無言で1本食べ切ると1年間健康でいられるといわれています。

丸ごと食べるのは「縁を切らないように」という意味が込められており、無言で食べるという作法は「途中で喋ってしまうと福が逃げてしまうから」なんだとか。

恵方巻きに入れる具材は地域や家庭によってさまざまですが、七福神にちなんで7種類の具材を入れると縁起が良いとされています。

2023年の恵方は「南南東のやや南」です。



うるう年について

4年に1度訪れる

◆うるう年の意味

「うるう年」とは、2月29日が存在する年のことを意味します。語源は「平年よりも日数や月数が多い」ことを表す言葉「うるう(閏)」です。この「うるうがある年」だから「うるう年」と呼びます。そのため、うるう年だけではなく、「閏日(うるうび)」「閏月(うるうづき)」といった言葉もあります。

◆うるう年が必要な理由について

季節と暦のズレを解消するためです。「太陽暦」は、地球が太陽の周りをまわる周期をもとに作られています。

地球が太陽の回りを一回りするには、約365.24219日かかります。ぴったり365日だったら問題ないのですが、365日+約1/4日という端数が...この**1/4日を無視してずっと365日の暦にしてしまうと、徐々に季節と暦がずれてしまいます。**だから**4年に1度うるう年を設けて、2月に1日(1/4日×4年分)を足して調節をしているのです。**

2月の月こよみ

